

整形外科

曜日	内容	担当	集合時間	集合場所
月	オリエンテーション①	大西(慎)	8:00	8号館6階カンファレンス室
	術前カンファレンス	橘	8:15	8号館6階カンファレンス室
	オリエンテーション②	井石(琢)	8:00	8号館6階カンファレンス室
	上肢手術見学	土山	9:00	手術室
	昼食			
	脊椎手術見学	圓尾	13:30	手術室
	整形外科総論講義	橘	15:30	8号館6階カンファレンス室
火	術後カンファレンス・ショートレクチャー	橘	8:00	8号館6階カンファレンス室
	脊椎手術見学	圓尾	9:00	手術室
	昼食			
	脊椎手術見学	圓尾	12:45	手術室
水	外来実習	中山・土山	9:00	1号館1階整形外科外来
	昼食			
	外傷学講義	大西(慎)	14:30	8号館6階カンファレンス室
	レポート作成			
木	術前カンファレンス・抄読会	橘	8:00	8号館6階カンファレンス室
	関節鏡・上肢手術見学	中山・樋口	9:00	手術室
	昼食			
	検査見学（ミエログラフィー：脊椎）	木島	13:30	1号館2階TVセンター
	ギプス実習、骨粗鬆症講義	川口	16:00	1号館1階整形外科外来
金	回診・担当症例カンファレンス	橘	8:15	1号館10階西病棟
	腫瘍・下肢手術見学	川口・井石(琢)	9:00	手術室
	昼食			
	レポート作成			
	総括、担当症例プレゼンテーション	橘・圓尾 中山・有住・井石(智)・武田	15:00	8号館6階カンファレンス室

◎ 診療科名： 整形外科

◎ 責任者氏名： 橘 俊哉 主任教授

◎ 指導教員氏名： 大西 慎太郎 助教

◎ 実習概要

1.カンファレンス、2.教授回診、3.病棟実習、4.手術見学（脊椎、下肢、上肢、腫瘍、スポーツ）、5.ギプス実習、6.脊髄造影（ミエログラフィー）検査実習、7.関節造影検査実習、8.四肢計測法実習、9.整形外科総論、関節疾患、骨粗鬆症、外傷学講義、10.その他各種検査・処置・治療の見学、などを行い、整形外科領域における各種の疾患、障害、外傷に対する的確な診断と治療方針の立案が行えるための基礎知識の獲得を目指す。

◎ 各診療科における到達すべき学修成果（アウトカム）

（臨床実習の授業概要「到達目標（アウトカム）」に準拠する）

- (1) 入院患者を担当し、その診断・治療（手術を含む）についてレポートを作成する。
- (2) 四肢計測を含む理学所見の評価法、ギプス巻き等の処置ができる。
- (3) 骨折及び骨粗鬆症の診断・治療について理解している。
- (4) スポーツ外傷、障害について、診断や評価法を理解している。
- (5) 上・下肢の外傷・疾患について診断や治療に関する基本的知識がある。
- (6) 骨・軟部腫瘍の画像診断や手術について、その実際を学んでいる。
- (7) 脊椎疾患の診断、治療について理解している。
- (8) 脊髄造影検査（ミエログラフィー）、関節造影検査の手技や画像評価を理解している。

◎ 準備学修ならびに事後学修に要する時間

3年次の講義資料をよく復習し、整形外科各分野の疾患や外傷の基礎知識を事前に身につけておくこと（1日間）

◎ 評価方法

知識、態度（積極性）、コミュニケーション、病態の把握、診察手技、プレゼンテーション技術（構成、スライドの見やすさ、伝え方など）について評価。
評価基準をループリックで明示。

【知識★（国家試験レベルを基準とした知識があるか）】

点数	基準
5	整形外科領域の最新の治療も含め深く理解している。
4	十分に理解している。
3	標準的なレベルで理解している。
2	十分に理解できていない。
1	全く理解できていない。

【態度（積極性）★】

点数	基準
5	指導医や担当医に加え、カンファレンス内でも積極的、自発的に質問する。
4	指導医や担当医に疑問点について、積極的に質問する。
3	ノルマはこなしているが、指導医や担当医に対する質問の姿勢が標準的。
2	消極的で指導医や担当医に対する質問がなく不十分。
1	非常に消極的で指導医や担当医、実習に対して著しく不誠実な部分がある。

【コミュニケーション★（積極的に知識、経験を得ようとする姿勢が見られるか、自発的学習を含む）】

点数	基準
5	非常に良く行っている。
4	十分に行っている。
3	標準的なレベルで行っている。
2	十分とは言えないが、最低限は行っている。
1	不十分である。

【プレゼンテーション技術（担当する症例報告の構成、スライドの見やすさ、伝え方など）】

点数	基準
5	簡潔・明瞭で、非常に理解しやすい発表である。
4	明瞭で、十分理解しやすい発表である。
3	ある程度明瞭で、理解できる発表である。
2	不明瞭で、理解しにくい発表である。
1	著しく不明瞭で、理解が困難な発表である。

◎ 中間評価とフィードバック

中間評価：水曜日の実習終了時点で、それまでの実習態度やアウトカムについての評価を行う。

フィードバック：実習週の金曜午後からの総括の際に、担当症例に関するプレゼンテーションや関連事項に対する質疑の中で、個々の学生にフィードバックを行う。

◎ 注意事項

- 初日は8時 00 分に8号館6階の整形外科カンファレンスルームに集合すること。
- 火曜日8時 00 分のショートレクチャー・術後カンファレンス、木曜日8時 00 分の抄読会・術前カンファレンス、金曜日8時 15分の教授回診には時間に遅れることなく出席すること。
- 手指・爪の状態、頭髪、服装など、外来や手術室、検査室での実習にふさわしい準備を行って実習に臨むこと。
- 月曜日が休みの場合は、火曜日 8 時 00 分からのショートレクチャー・術後カンファレンス終了後にオリエンテーションを行います。
- 実習日程表を各自持参すること。
- 休日などの補講は行わない。